



サロン。大きな窓から森を借景



サロン。ランダムな窓から光が射す



エントランス側より。背後の魅力的な森に対し、遠近感が強調されて見える形状

設計者からの一言

戸島 健二郎

片流れ屋根の直交方向に上昇感を持たせた形状を内部空間にも運動させ、一室空間ながら天井高が連続的に変化し、屋根裏的、吹き抜け的空間を併せ持つ。

脇坂工務店さんは、当アトリエと同じ銭函を拠点とし、以前より交流を持っていたが、今回初めて施工していただくことができた。珍しい建物形態ではあったが、設計意図をよく汲み取りつつ、丁寧な仕事をしていただき、感謝している。

設計監理

戸島健二郎建築設計

小樽市銭函1丁目11-13
TEL/FAX 0134-62-3415
<http://homepage2.nifty.com/tojima/>

施工

(有) 脇坂工務店

☎ 0120-711-525

本社営業部 小樽市銭函2丁目43-9
TEL 0134-61-2488
本店 札幌市東区北11条東4丁目5番地
TEL 011-785-2088
<http://www.wakisaka-E0.com>
※住宅雑誌「Replan」82号より抜粋。



自然感とダイナミズムの調和

小樽市・Aさん 蘭島のCOTTAGE

豊かな発想を 確かな技術で実現

「海のそばで、のんびり過ごしたい」という自身の長年の思いと、日頃から一生懸命働いてくれる社員に憩いの場を提供したいという経営者としての思いやり。その願いを叶えるべく、Aさんは小樽市蘭島の前浜に社員とともに過「す別荘を計画。建築は、空手を通じて10年以上親交のある脇坂工務店の脇坂社長にお願いした。

「彼の真面目な性格はわかっていました。空手の世界に身を置き、礼節を重んじる人間に悪いヤツはいないですからね」

立地条件は、既存の建物の屋根越しに日本海が広がり、敷地裏手に緑が生い茂る自然豊かな場所。周囲の既存建物と違和感なく付き、借景を生かしつつ、非日常感を味わえる空間を重要視した。設計は若手建築家の戸島健二郎さんに依頼したが、建築家を交えて完成度の高い仕事を目指すスタイルにも、「プロがプロと組むのだから、いいものが出来るに違いない」と絶対の信頼を寄せたという。

こうして900坪の広々とした敷地に、大人数が集まってもゆったりできる別荘が完成。森と海を借景しつつ、木のぬくもりに癒される大空間が出来上がった。建築家の豊かな発想力のもと、丁寧な施工でそれを実現した脇坂工務店。その仕上がりに、脇坂社長への信頼感がより深まったとAさんは話す。

屋根形状と連動した3×7.5間の内部空間。天井は構造材現しによる陰影のあるルーバー。床はキハダフローリング。壁は針葉樹構造用合板

Photo: Osamu Adachi